

今後、市が検討する取組み(案)について

1) 地域又はシルバー人材センターによる空家管理について

所有者が高齢であったり、遠方に居住している等の理由により、適切な空家管理が困難な場合があります。

そのため、地域団体等又は公益社団法人御殿場市シルバー人材センターによる空家・空地の状況報告や管理業務について検討したい。

また、所有者の承諾のもと、可能なものは地域の助け合いにより解決されるよう防災・防犯面からの地域課題として啓発していきたい。

2) 空家管理・活用相談員派遣制度について

空家意向調査の結果、市への要望として約半数の空家所有者は、相談窓口や紹介・仲介制度を要望しており、今後の活用方法についてどのようにしたらよいか判断に迷っています。

そのため、所有者に寄り添ったアドバイスを気軽に受けることができる空家管理・活用相談員派遣制度の構築を検討したい。

3) 空家除却助成事業について

老朽化した空家を放置すると、周辺に建材の飛散や雑草の繁茂による害虫の発生等、近隣住民の生活環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。

そのため、特定空家等の勧告を受ける前に、自主的に除却を行う所有者への助成制度について検討したい。

4) 空家建物状況調査事業について

空家は、新築時の品質や性能の違いに加え、その後の維持管理や環境等の状況により物件ごとに大きな差が生じます。

そのため、空家バンクに登録し、売主・買主が安心して建物の取引が出来るよう、建物状況調査を行う所有者への助成制度を検討したい。

5) 空家改修助成事業について

適切に維持管理されておらず修繕が必要な建物や、現行の耐震基準に適合していない建物については、安全性や市場価値が低くなります。

そのため、空家バンクに登録し、公開された空家を購入した方のうち、自らが居住するため、住宅の改修工事を行う所有者への助成制度を検討したい。